

学校便り

追手門学院小学校 西館校舎惜別会

小学校教頭 森 義和



「先生、私ら昔ここ、新館って言うてんですよ!」という言葉と共に詰め寄るように見つけて力強く声をかけてもらいました。30～40年前を思い、本当に心から子どもの小学校時代を懐かしんでいる様子が伝わってきました。本校に勤めて30余年の私より思

いの強さが顕著にあらわされた瞬間でした。これが、卒業生の思い出の瞬間でしょう。

今回、小学校西館校舎惜別会に約400名の方をお迎えしました。中庭から西館バックに写真を撮ったりしている様子や、図工室前ペランダから中庭を眺める様子がありました。懐かし語り、この惜別会を機会に久しぶ



りに会った友人と共に教室を感慨深げにゆっくりと回られています。何十年ぶりの同窓会を開いた期生もあったようです。現在も1年生が使っている一体型机にも座ってもらい、新入生として西館校舎に入ったときのことを思い出していただきました。

120周年記念事業の一貫としての小学校西館校舎建設に伴い、夏休みに解体工事を行うことになりました。創立70周年、80周年を記念して建てられた建物と一部残っていた昭和6年の建物と合わせて解体されるのは大変残念です。そこで、児童西館惜別会を6月22日、卒業生・保護者・旧教職員対象の惜別会を23日(土)に行いました。

児童惜別会では、当時としては最新鋭の校舎で見学者が多かったことや昔の建物にまつわる話をクイズ形式で進めました。最後に子ども達全員で「お別れの言葉」を述べ、校歌を歌って別れを惜しみました。

惜別会当日は、午前中に大阪天満宮祭主により校舎内の第1音楽室で厳粛に安全祈願祭を執り行いました。

午後から本館記念ホールで惜別会を行いました。津田克彦小学校長開会の辞・大木令司理事長・鈴木多加



史学院長挨拶の後、77期生の寶來扶佐子さんに「卒業生を代表して思い出を語る」と題してお話をいただきました。その後、教職員が各教室に案内係としてつき、理科室や音楽室や家庭科室や習字室や旧視聴覚室等の西館見学会を催しました。惜別懇親パーティーは、総会を終了した山桜会と共催で、惜別会と同じ記念ホールで行いました。津田克彦小学校長の挨拶、山桜会会長の川原俊明様ご挨拶、PTA会長の切通彰様ご発声の乾杯の後なごやかに進行し、余興として本校教諭による伴奏と歌と西館スライド映写が行われました。歓談の後、最後に大阪信行社附属小学校校歌(聖旨)・追手門学院歌を斉唱して終了しました。

思い出
アルバム

懐かしい教室



みんなで
歌った音楽室



ありがとう
西館校舎。